森町議会全員協議会

令和６年６月２６日（水曜日）

開会　午前　９時２７分
閉会　午前　９時４３分

（議会側の課題）
１．議会運営委員会委員長報告
２．その他

○出席議員（１３名）

議長１４番	木村俊広君	副議長　１番	伊藤　昇君
２番	河野文彦君	３番	髙橋邦雄君
４番	河野　淳君	５番	山田　誠君
６番	野口周治君	７番	斉藤優香君
８番	千葉圭一君	９番	佐々木　修君
１０番	加藤　進君	１２番	東　隆一君
１３番	松田兼宗君		

○欠席議員（１名）
１１番　山本裕子君

○職務のため出席した者の職氏名

事務局長	小田桐　克幸君
次長兼 議事係長兼 庶務係長	関　孝憲君

開会　午前　９時２７分

○議長（木村俊広君）　ただいまの出席議員数は13名です。定足数に達しましたので、全員協議会を開会します。

これから本日の会議を開きます。

本日の議題は、お手元に配付のとおりであります。

初めに、１、６月第２回会議に関わる議会運営委員会委員長報告に入ります。山田議会運営委員会委員長、報告をお願いします。

○議会運営委員長（山田　誠君）　それでは、報告させていただきます。

皆さん、おはようございます。去る６月20日に開催されました議会運営委員会についての報告をさせていただきます。

６月第２回会議の運営についてでございますが、町長提出議件は補正予算１件のほか計７件出ております。配付されている議案のとおりでございます。

次に、議事日程でございますけれども、森町議会会議条例の規定により６月26日の１日間となります。

当面する日程以降については、小田桐局長より説明しますので、よろしくお願いいたします。

以上でございます。

○議長（木村俊広君）　それでは、内容について、小田桐局長、お願いします。

○議会事務局長（小田桐克幸君）　それでは、私のほうからお話しさせていただきます。

まず最初に、申し訳ありません。皆さんの机の上に議案第３号が１枚ぽろっとあると思います。昨日の夕方なのですけれども、急遽ちょっと訂正をさせていただきたいということで申入れがありました。訂正後のものになります。直ったところが議案第３号の中ほどに３、譲渡の相手方というふうにあるのですけれども、ここの住所になります。砂原６丁目13番地13号で皆様にお配りしていたと思いますが、この「号」が要らないということでございますので、この分の差し替えでございます。伴いまして、配付資料、議案の資料の２ページ目に、ここに譲渡先住所というところがあって、同じく「号」が入ってございます。この部分については、大変申し訳ございません。皆さんのほうでフリーハンドでちょっと消していただければと思います。すみません。よろしくお願いいたします。

それでは、当面する日程についてお話しさせていただきます。まず、ただいまの全員協議会の後、10時から本会議がございます。そして、終了後、すみません。議運の段階でちょっとこれ入っていなかったのですが、入れさせてもらいました。全員協議会ということで、よろしくお願いしたいというふうに思います。さらに、その終了後に広報広聴の常任委員会を予定しております。

続きまして、６月27日、あしたになります。議会改革調査特別委員会、10時から、第５回目でございます。

そして、来週です。７月２日、３日になりますが、議員研修会、札幌市で開催をされます。今現在の行程案を添付をしておりますので、参考にしていただきたいと思います。なお、２日目、通常例年２日目に視察をして、お昼御飯を食べて帰るというふうにしておりますけれども、今現在ちょっと２日目、どこに寄るとかというふうにまだ決まっておりませんので、何かありましたら声を寄せていただければというふうに思います。あわせまして、議員研修会の演題がまだ未定ということだったのですが、ファクスで内容が届きましたので、皆様にお配りしております。よろしくお願いいたします。

では、レジュメに戻りまして、８月20日でございます。議会広報研修会、これは19、20日の日程になりますが、札幌市で開催をされるところでございます。

事務局からは以上になります。

○議長（木村俊広君）　説明ございました。

この件に関しまして、皆さんのほうから何か質問ありますか。

○７番（斉藤優香君）　研修会の後の研修というか、寄り先というのは、行きたいところというか、見たいところがあれば、議会事務局に言えばよろしいのでしょうか。

○議長（木村俊広君）　皆さんのほうからいろんな意見をいただきながら、後ほど調整かけるということで、局長のほうに連絡もらえればなと思います。よろしいですか。

その他ございますか。

（「なし」の声多数あり）

○議長（木村俊広君）　なければ、次にその他に入ります。

皆さんから何かありますか。

（「なし」の声多数あり）

○議長（木村俊広君）　実は、７月21日、友好町であります青森県外ヶ浜のほうで港まつりがございます。私と町長と招待されているのですけれども、古くから権四郎会という、そういう会ございまして、山田さんがそのメンバーになっているのですけれども、そういうことでわざわざ何か日程を、砂原の神社のお祭りとぶつかっていたものをあえて皆さんに来てもらいたいという、そういう何か意向があったみたいで、日にちを何かずらしてくれたみたいなのです。それで、もしよければ有志を募って参加したいという、そういう流れになっているのですけれども、できればお金のかかることですので、議員会のほうからもちょっと捻出しながら、補填しながら、どうかなという、そういう話なのですけれども、そういうことで議員会長のほう、どうでしょうか、その辺。

○９番（佐々木　修君）　ただいま議長から話があったとおりでございます。私のほうにも一部の方から要望というか、要請ありました。ぜひ行きたいという話が出ていまして、ただ皆さんに改めて通知していませんでしたので、今日、今議長から話が出されました。皆さんの了解があればというか、了解をいただければ議員会から若干でも、あまり財源が余裕ありませんけれども、現地での飲食の会費が2,500円だそうです。それで、それにプラスちょっとでも足してでも議員会から補填をしてあげられればいいかなと。こう思って、

皆さんのご意見を伺いたいというか、ご了解いただければいいかなと思っております。
以上です。
○議長（木村俊広君）　今お話しあったとおりなのですけれども、ざっと１万5,000円ぐらいですかね、経費的にかかるものは。
○議会事務局長（小田桐克幸君）　新幹線の料金が往復で１万七千何百何十円。
○議長（木村俊広君）　そうすると、現地での会費と合わせて２万円ぐらいかかるということですね。
それで、幾ら補填するかということになるのですけれども、皆さんのほうから具合もちょっとしながら進めたいなと思います。どうですか。
○３番（髙橋邦雄君）　お話を聞いたら、基本実費で行ってくださいというようなことだと思うのです。もしそれに関わる例えば新幹線を取ったり宿泊は、それも個人で取ってくださいということなのですか。
○議長（木村俊広君）　すみません。日帰りになります。基本ホテルがないので、まず旅費等々に関して、局長。
○議会事務局長（小田桐克幸君）　先ほどの金額は撤回させていただきます。１万3,520円。
（「往復で」の声あり）
○議会事務局長（小田桐克幸君）　はい。１万3,520円。
○議長（木村俊広君）　参加費を合わせて１万6,000円ぐらいということですね。
○議会事務局長（小田桐克幸君）　プラス2,000円……そうですね。ごめんなさい。すみません。
（「いまべつ」の声あり）
○議長（木村俊広君）　いまべつまでです。その先は、権四郎会のつながりで山田委員長が手配するという、そういう流れになると思いますけれども。
○議会運営委員長（山田　誠君）　実は、今議長が言ったように合併する前の砂原と蟹田の友好姉妹締結をやっています。その中で、権四郎ふるさとの会というのがございまして、そこから互いの権四郎ふるさとの会の会長さんから文書が来ていると。後でこれ皆さんのほうに差し上げます。それで、先ほど言ったように７月21日、時間も書いておりますので、日帰り日程で行って帰ってくるというふうなことでございます。それで、交流会の会費は一応１人2,500円というふうに先般から決めていまして、前は結果オーライで後でということになったのだけれども、それは駄目だから、互いに2,500円でやりましょうということでございます。だから、今局長が言ったように新幹線早割、これやると１万3,520円になるわけなので、合わせれば大体１万5,000円ぐらいでなるだろうということで、たまたまこの話を聞いた議員さん方も行く、行くということになって、それであれば議員の皆さん方に連絡をしましょうということで、ご都合のいい方は申し込んでいただければ、局長のほうでまとめて早割を取るというふうになっておりますので、その辺ご理解していただきたいな

と。後で来た文書そのままコピーして差し上げますので、よろしくお願いします。
○議長（木村俊広君）　早割がいつまでのあれだったら利くのかという部分もありますので、その辺は早めに皆さんのほうから、まず行くとか、行かないとか、そういう返事をもらいたいなと思います。
　それで、１万5,000円、6,000円ぐらいかかるのですけれども、できれば議員会のほうから5,000円ぐらいの補填をしたいなと思うのですけれども、まずそこを皆さんから了解をいただかなければならないということで、どうでしょうか、その辺。
（「いいと思います」の声あり）
○13番（松田兼宗君）　これ議員会の事業にしてしまうということなのだろうか。
　それと、外ヶ浜から来ているのは、さわらふるさとまつりに来ているのだけれども、そのお返しでこの前行ってきているわけでしょう。とすれば、今回議員会で行くということは、あっちの外ヶ浜からまたもう一回来るという意味なのだろうか。その辺の意味が分からないのです。議員会の事業としてやるのなら、お返しとして必ず行き来はあったはずなのだけれども、今の話だと、あっちから別な機会で来るという話はないですよね。とすれば、一方的なこっちから行くということに、それがいいとか悪いとかと言っているのではないけれども、そういうことに、お互いのやり取りの話になってきているはずなのです。静岡の森についてもそうだし。というイメージを持っているのだけれども、今後そういうような、それではもう一度あっちのほうから何か事業、こっちで行事があれば来るということになってしまうのですか。その辺、どうなのですか。
○議長（木村俊広君）　その辺のことに関しては、全く何も考えていません。ただ単に、たまたま権四郎会のほうで来てもらいたいという、そういう話があって、お話を皆さんにしたところ、それでは行ったことないから、ぜひ行ってみたいなと。そういうたまたま乗りの話なのですけれども、結構な人数になりそうな感じ、雰囲気あったので、それであれば、できれば補填しながら、一人でも多く参加できれば、よりよいのかなという、そういう流れなのです。
○13番（松田兼宗君）　そうしたら今回だけで、来年以降はどうするということ、どうなるの。それは、だから議員会としては、この場って議員会ではないから、だから議員会の中で今後どうするのかという方針を、今回一度限りならいいけれども、事業として組み立てるということがはっきりしないと、後からまたごたごた、どういういきさつでこうなったか、分かっている人間がいる間はいいですよ。今回は山田議員がいるから、流れが分かっているから話は聞けるけれども、あるから、あるのだけれども、それがなくなった時点で誰も分からないことになってしまうので、きちっと事業なら事業の中に組み込むなら組み込むという方向にしたほうがいいとは思いますけれども。
○議長（木村俊広君）　そうしたら、議員会のほうで、議員会の役員さんでその辺の話を煮詰めてもらって、今後のことは私的にはまだ何も考えていないのですけれども、その辺のこともメンバーが変わっていけば、いろいろ状況が変わってくるということもありま

ので、今後のことについては、そういう形で進めてもらいたいなと思います。

まずは、今回の件については、いろいろ経緯があるのですけれども、私としては行ける人は、ぜひ行ってもらいたいなと思っているので、どうでしょうかね、その辺は。5,000円の補填の部分については、また別の話として役員会のほうでまた話を詰めてもらうことにしまして、まずは行ける方、事務局のほうに連絡くださいということで、その話は取りあえずいいですね。そうしたらね。

あと、会長のほうから何かお話あれば。

○９番（佐々木　修君）　今、松田議員から話が出ましたけれども、今年度の、６年度の事業の中にはないわけですから。でも、来年度はどうするのということですけれども、これは来年度、新年度の事業計画を組む段階でもうちょっと皆さん、役員会で協議して。ただ、町と町との交流が絡んでいるので、できれば権四郎の会という表現、これまで使われてきましたけれども、そういう関係もあるので、事業計画の中に組み込んでもいいのではないかなと。新年度の来年度以降、そんな気持ちではおりますけれども、今後協議したいと思います。

○議長（木村俊広君）　よろしいですか。

あとそのほかに何かございますか。ありませんか。

（「なし」の声多数あり）

○議長（木村俊広君）　事務局からは。

○議会事務局長（小田桐克幸君）　特にありません。

○議長（木村俊広君）　ありませんか。

それでは、以上をもちまして本日の議題の審議は全て終わりました。

本日の全員協議会はこれで終了します。

お疲れさまです。

閉会　午前　９時４３分